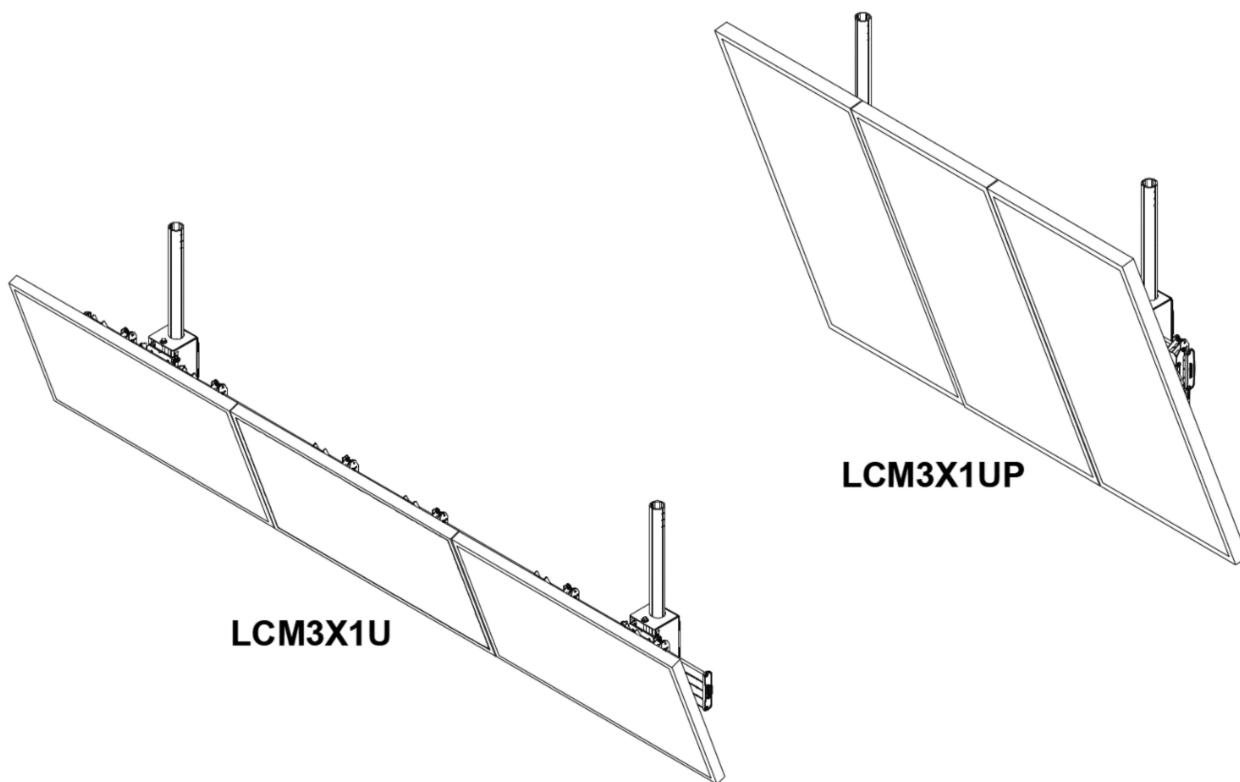


取扱説明書



天吊タイプマルチディスプレイマウント LCM3X1U / LCM3X1UP



このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
とくに「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。

必ずお守りください。

設置には特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付工事業者へご依頼ください。
お客様による工事は一切行わないでください。

販売店様、工事店様へ

- お客様の安全のため、取付場所の強度には機器本体含むディスプレイおよび金具類の合計重量の少なくとも5倍に耐えるよう十分注意のうえ、設計施工を行ってください。
- 作業は必ず2名以上で行ってください。
- 取扱説明書で指定しているネジや固定具は全数を実際に取り付けてください。
- 壁面の構造や材質によっては補強さんや補強板をいれるなどして適切な施工方法を採用してください。

安全上のご注意

 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡したり重大な事故を負う可能性が想定される内容を示しています

 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容あるいは物的損害の発生可能性がある内容を示しています

 **警告**：部品を改造しないでください。また破損した部品は使用しないでください。落下などの事故やけがの原因となります。

 **警告**：取り付けしているネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、金具やディスプレイの落下につながり、非常に危険です。

 **警告**：作業中金具の突起部分（ピンチポイント）に注意してください。指をはさまないようにご注意ください。

 **警告**：ディスプレイの取付作業を行うとき以外、ロック機構で確実にディスプレイを固定しているようにご確認ください。またケーブルの取付作業を行うときは、じゅうぶんにご注意ください。

 **注意**：運送による破損の可能性があるため、取付作業を行う前、確実に商品をチェックしてください。

設 置 の 前 に**■設置場所について**

- 本製品とディスプレイを設置する構造物は、総合重量に長期間十分に耐え、地震や予想される振動、外力にも十分耐えうる施工を行なってください。
- 設置の前に、ディスプレイと本製品を含めた取り付けユニットの総重量を確認のうえ、天井構造物の強度を確認してください。強度不足の場合は十分な補強を行なってください。
- 荷重は必ず柱や梁などの堅牢な構造材で受けるように取り付けてください。
- 強度が不十分な構造物への取付けは行なわないでください。
幅木や受け木に直接固定しないでください。
- 開閉するドアや家具の扉にぶつかる場所には設置しないでください。また振動の多い場所や、大きな力が加わる場所には設置しないでください。
落下や破損、ケガの原因となります。
- コンクリートの天井面に取り付ける場合は、総重量に十分耐えるコンクリートアンカー類を使用してください。

誤った取り付けや強度が不十分な取り付けを行なった場合、機器が落下して重大な事故やけがの原因となりますので、十分ご注意ください。

■設置方法

1. 本取扱説明書の安全上の注意についてよくお読みのうえ、適切な取付場所を決めてください。
2. 設置する天井構造物に対応した取付金具（CHIEFオプション品）、アンカー類やネジ等は、適切で十分な強度を持ったものをご用意ください。必要に応じて構造物に適切な下穴処理やアンカー固定を行なってください。
3. 設置する構造物の強度やネジの保持強度が十分確保できるか確認してください。
4. 本製品を構造物にしっかりと取付けてください。

設 置 の 前 に （ 続 き ）

■耐荷重量／その他

警告



本製品で明記している組立て／設置方法を守ってご使用ください。明記されていない使用方法や部品追加は落下による事故やケガの原因となりますので、絶対に行なわないでください。

警告

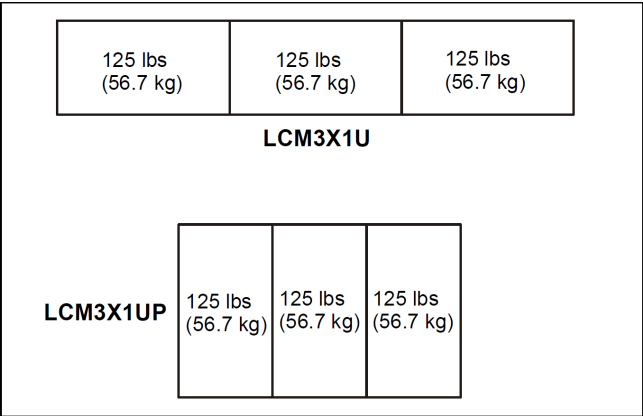


下記耐荷重量を超えた重量を取付けることはできません。

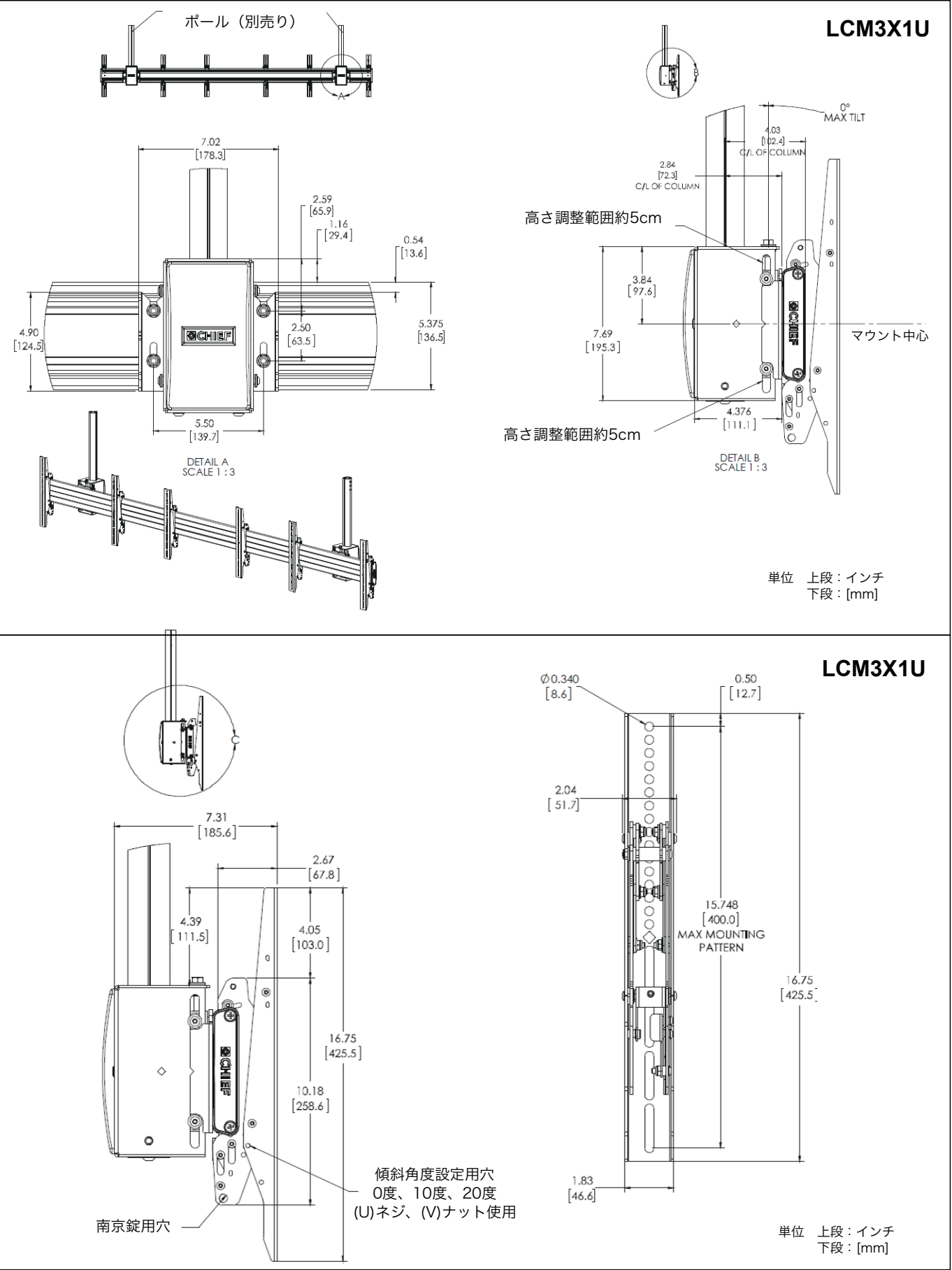
■最大耐荷重量表

MODEL	ディスプレイ1台毎の耐荷重量	マウントシステム全体でのディスプレイ耐荷重量
LCM3X1U	125 lbs (56.7 kg)	375 lbs (170.1 kg)
LCM3X1UP	125 lbs (56.7 kg)	375 lbs (170.1 kg)

■各モデル耐荷最大重量 (kg)

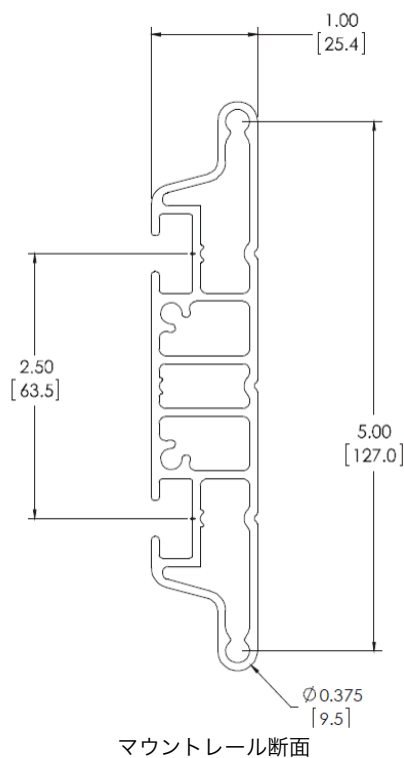


■寸法図 (その1)

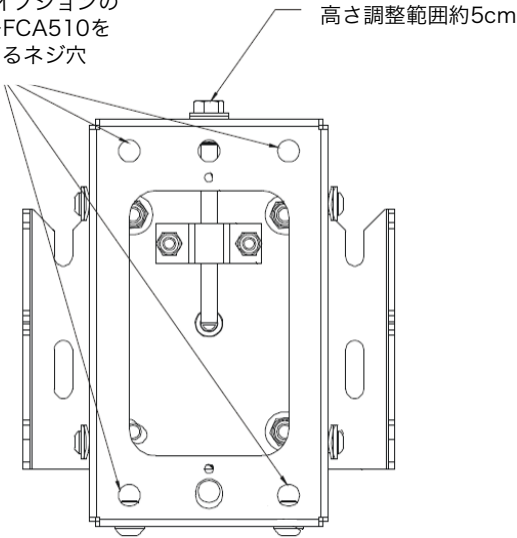


■寸法図 (その2)

LCM3X1U



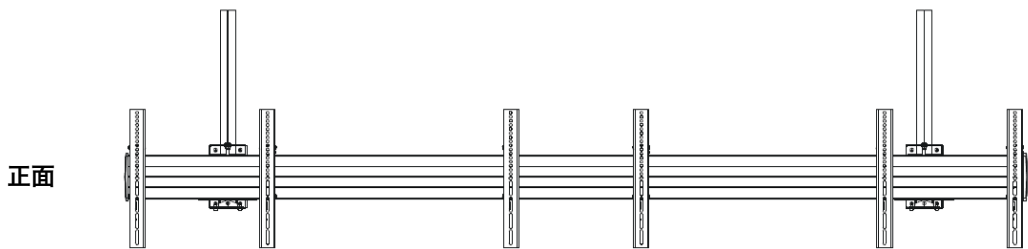
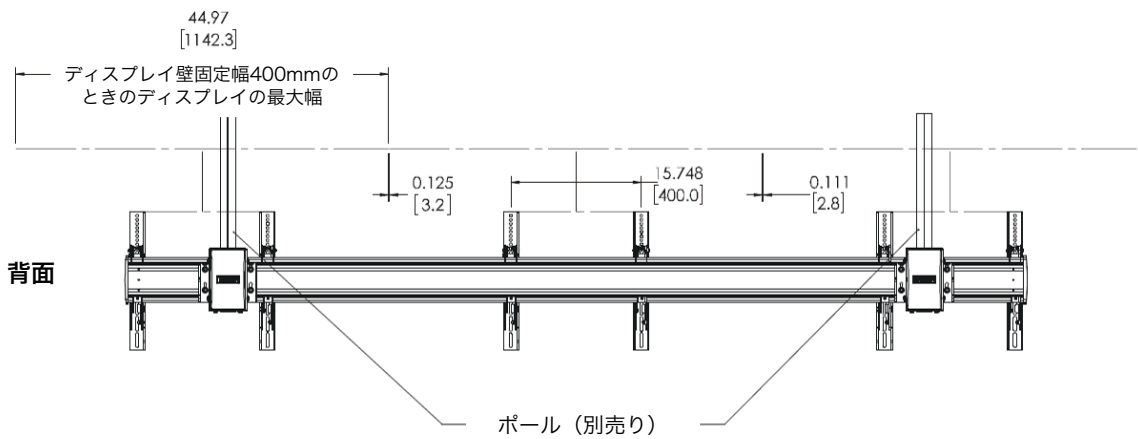
バックカバーおよび、オプションのCPUエンクロージャーFCA510を固定する際に使用するネジ穴



アレイヘッド背面

単位 上段：インチ
下段：[mm]

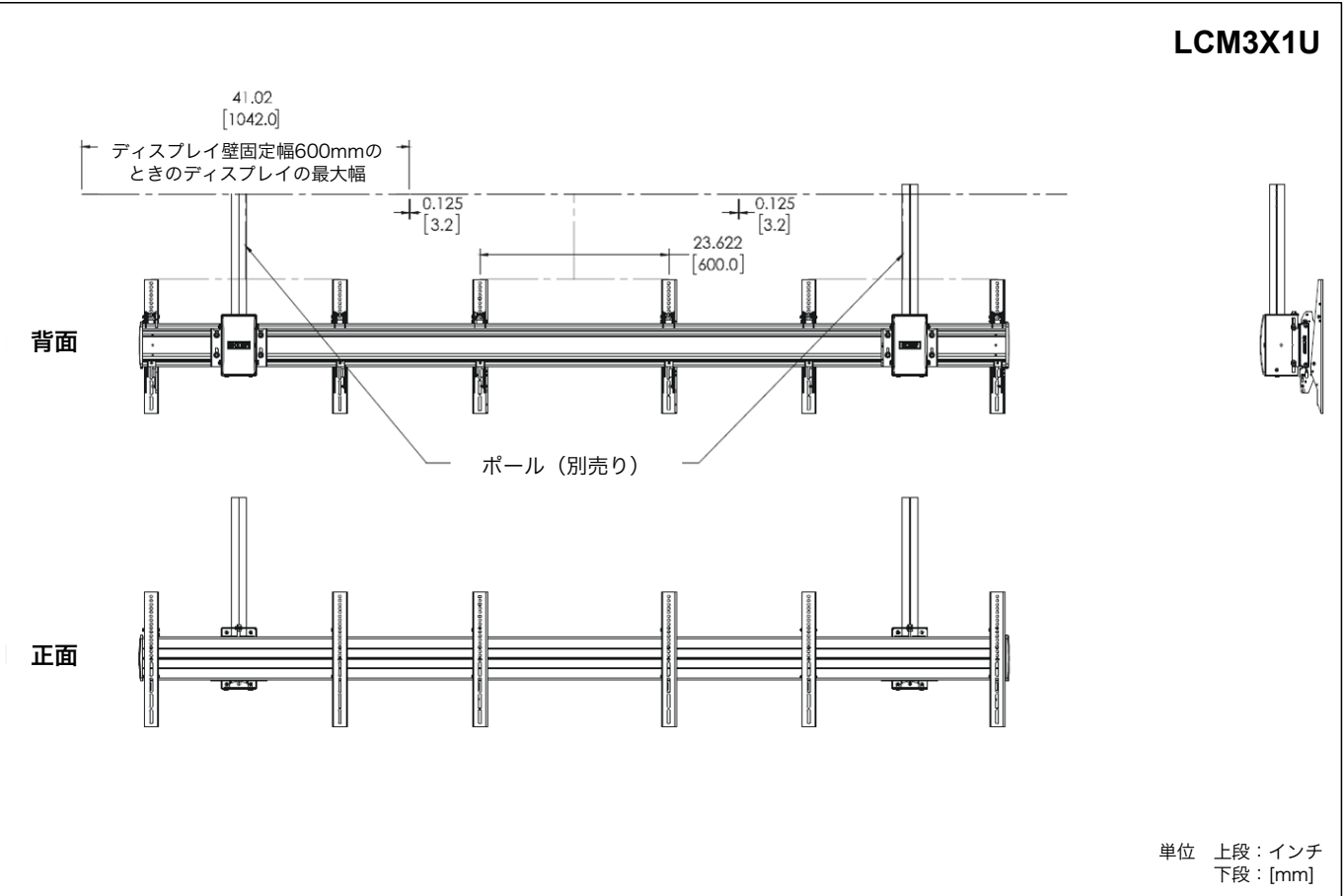
LCM3X1U



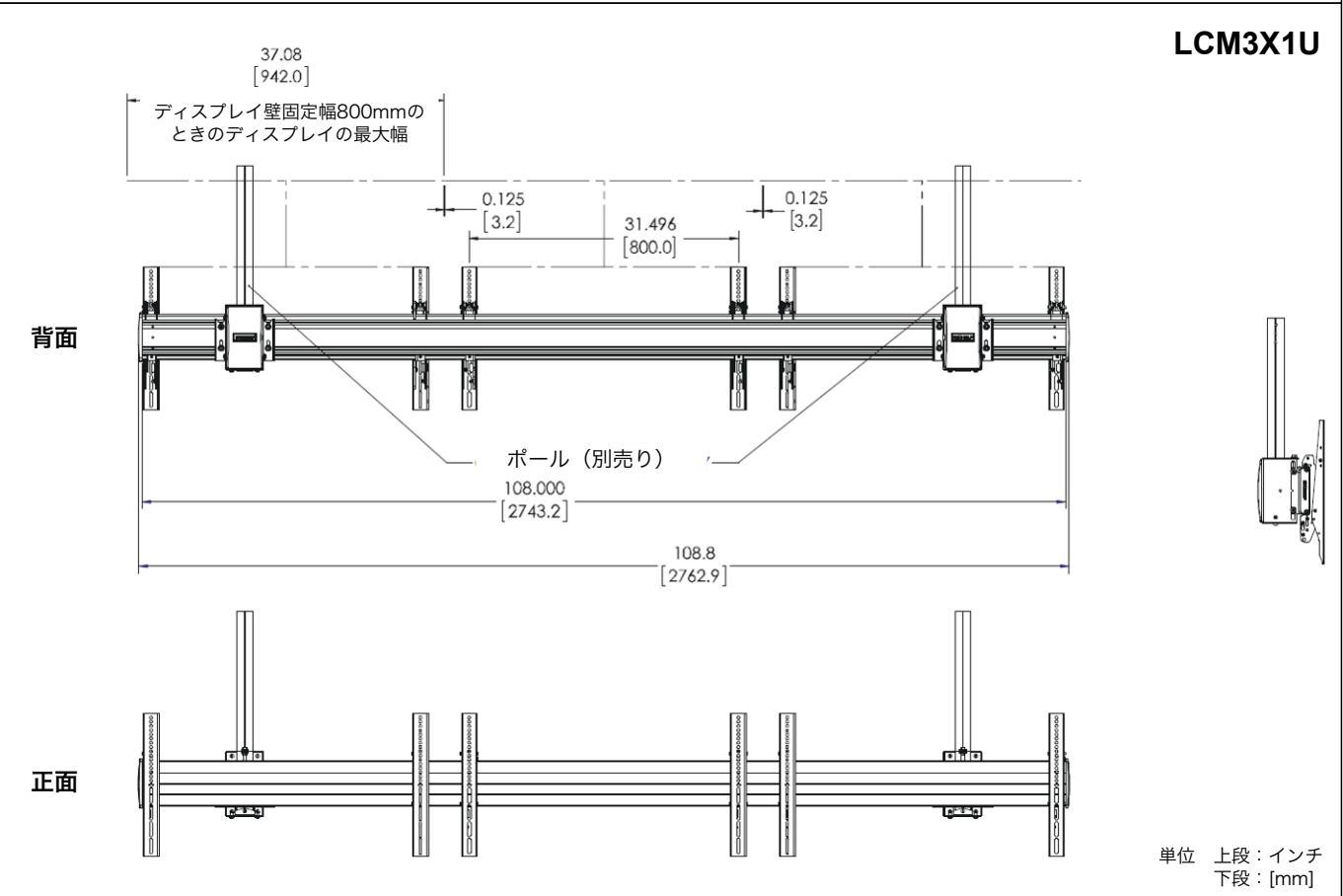
単位 上段：インチ
下段：[mm]

■寸法図 (その3)

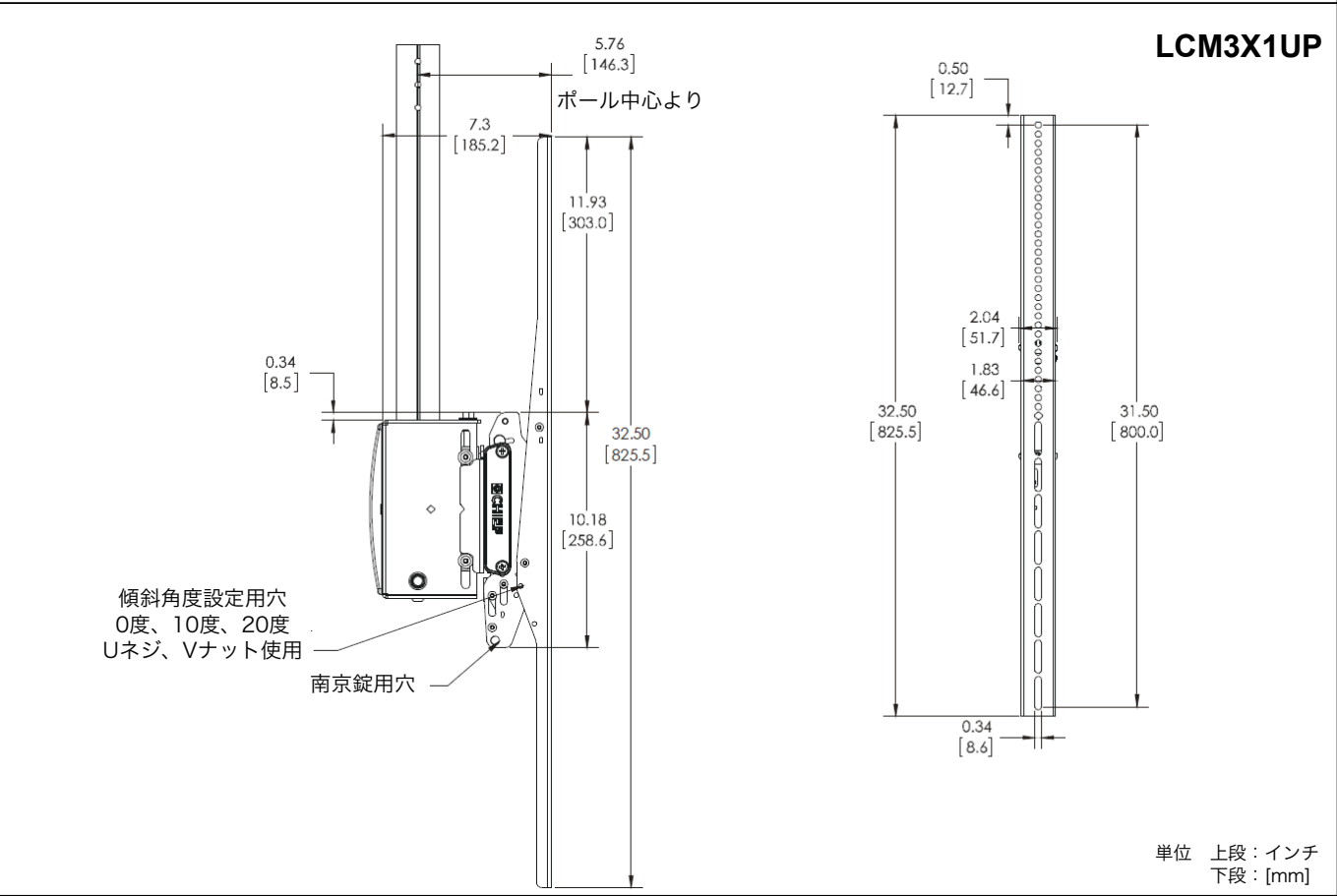
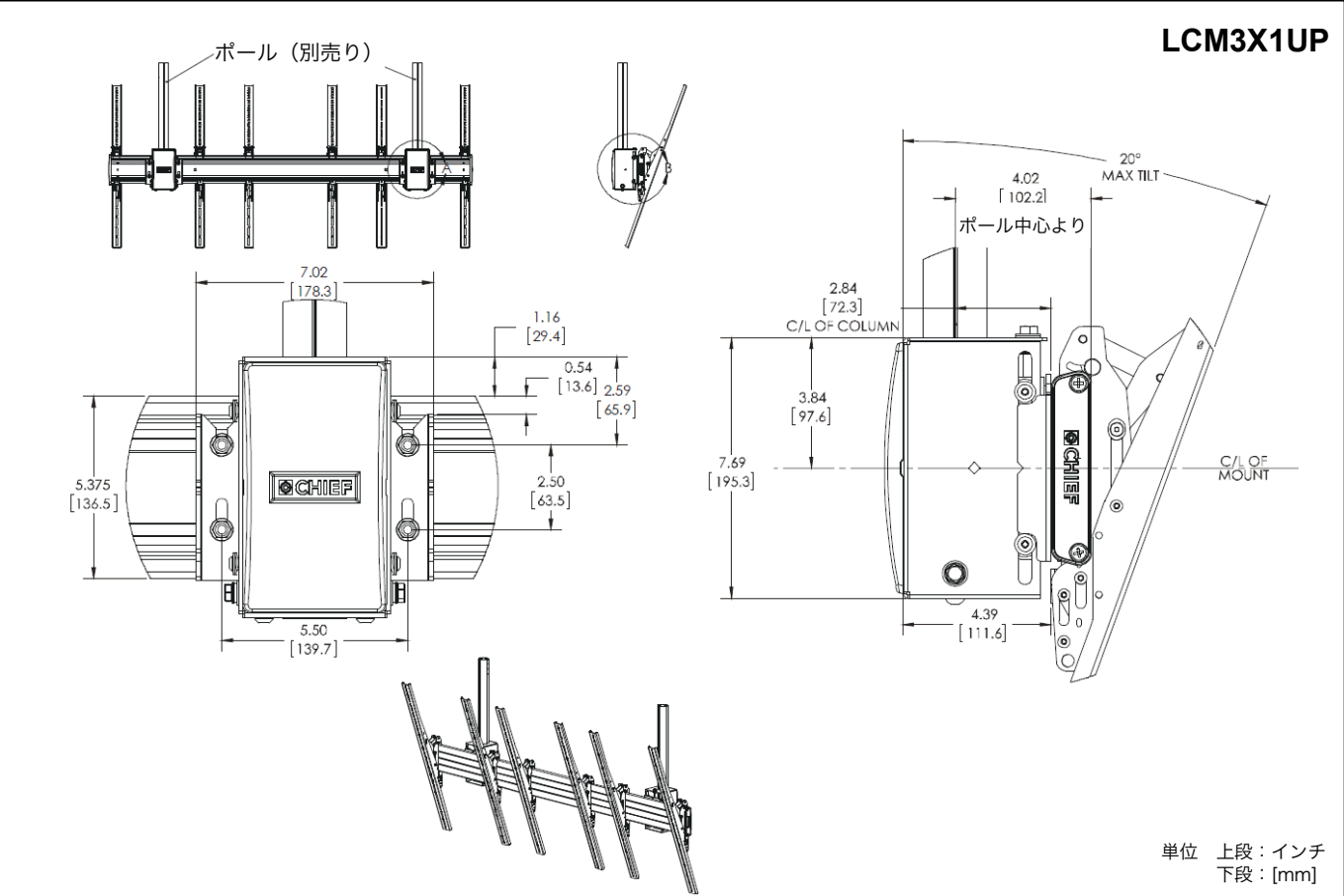
LCM3X1U



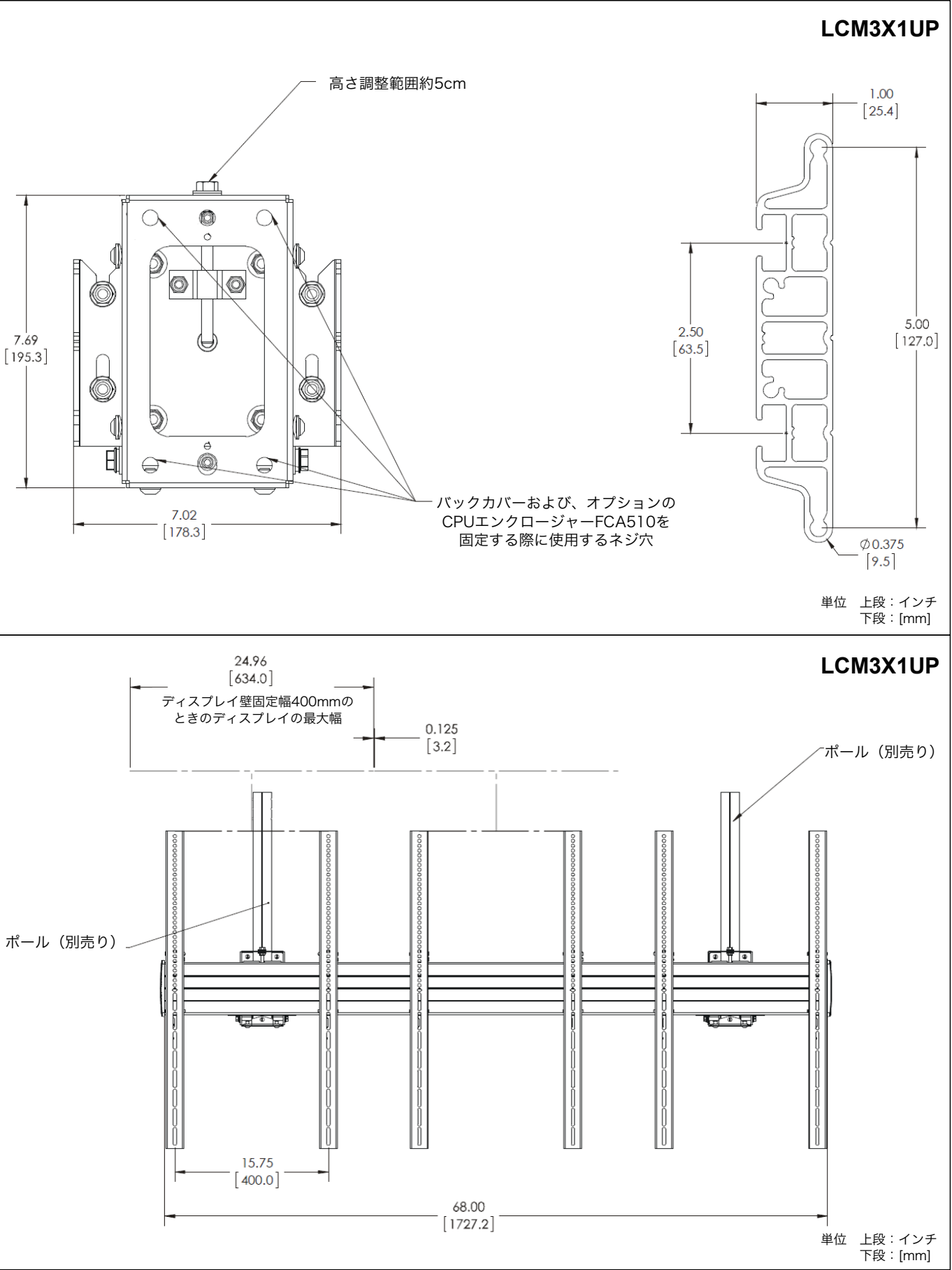
LCM3X1U



■寸法図 (その4)

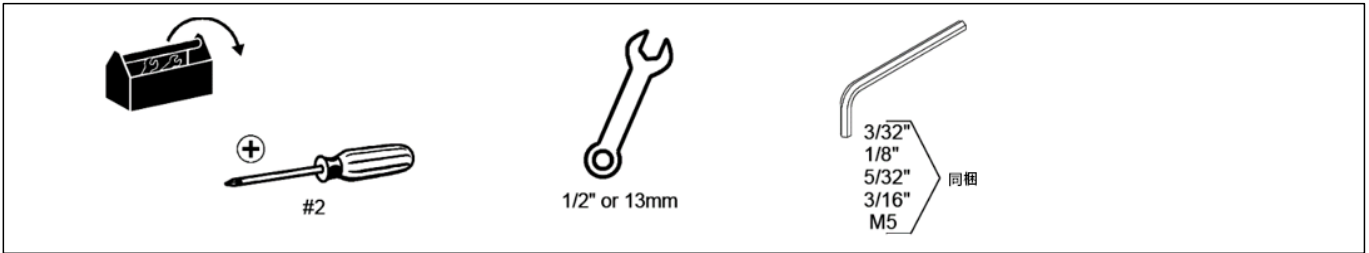


■寸法図（その5）



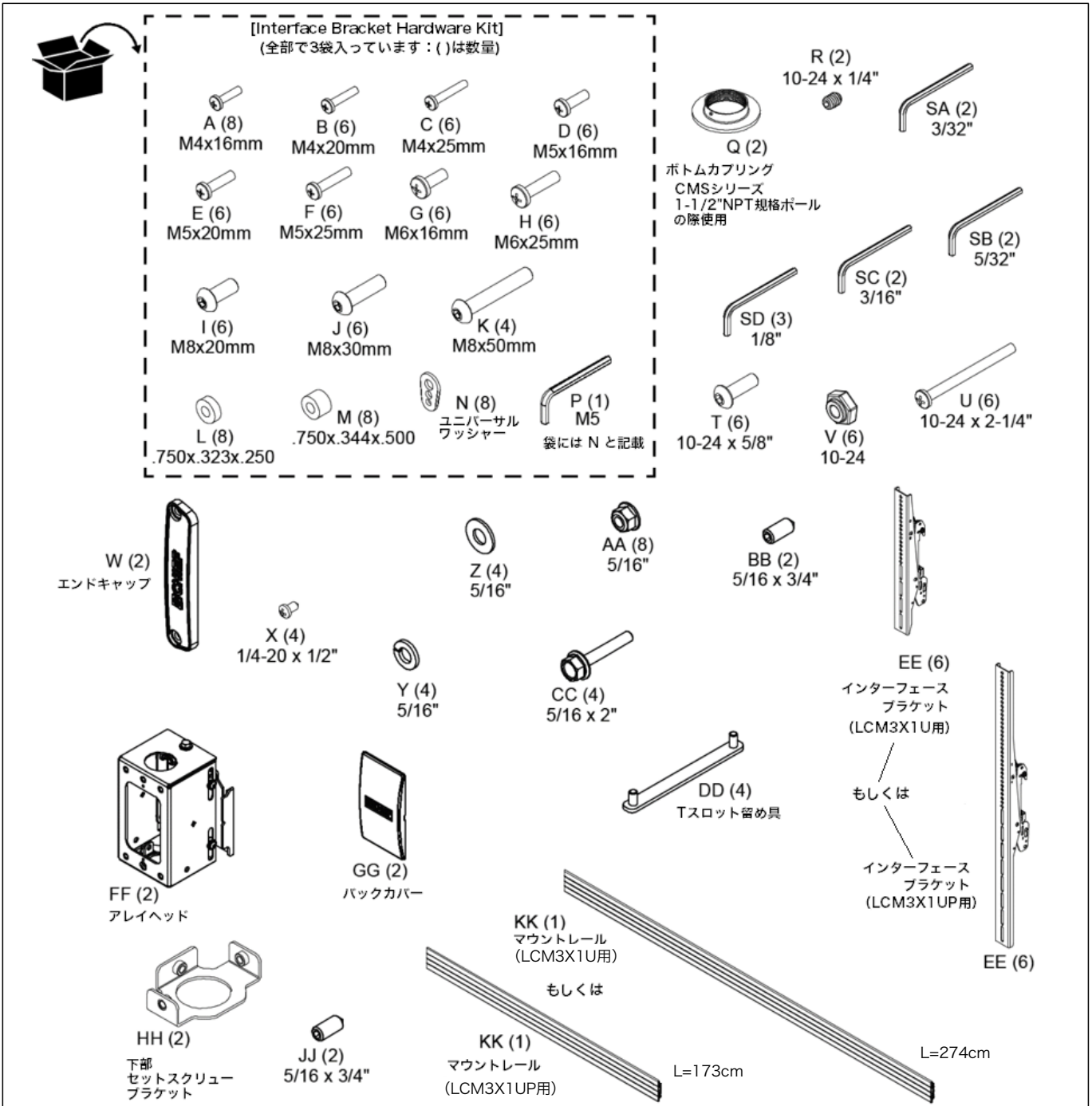
組立手順

■本体の組立に最低限準備いただく工具



■本製品の封入物

封入物の内容は、性能向上、対応範囲の変更等の目的で変更する場合があります



組立と設置

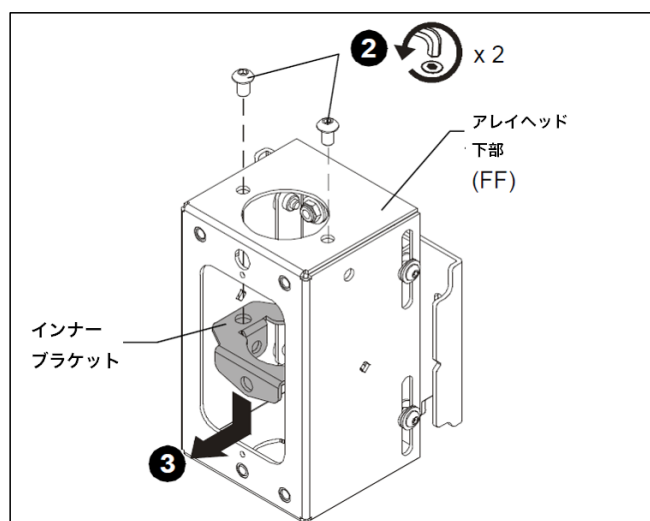
重要！：以下の組立と設置に進む前に、必ずお買い上げモデルの寸法図のご確認をお願いします。

メモ：天井吊用の別売りシーリングプレート、および別売天井吊ポール（CPAシリーズ、もしくはCMAシリーズ）が正しく施工された後に、本製品の組立と設置にお進みください。

- ・シーリングプレート（別売）、および天井吊りポール（別売）も、それらの取扱説明書を確認の上、正しく設置してください。

重要！：耐荷重量は2本の天井吊のポールから均等に配分されるようにしてください。

■天井用延長ポールCMSシリーズ（別売）への取付け



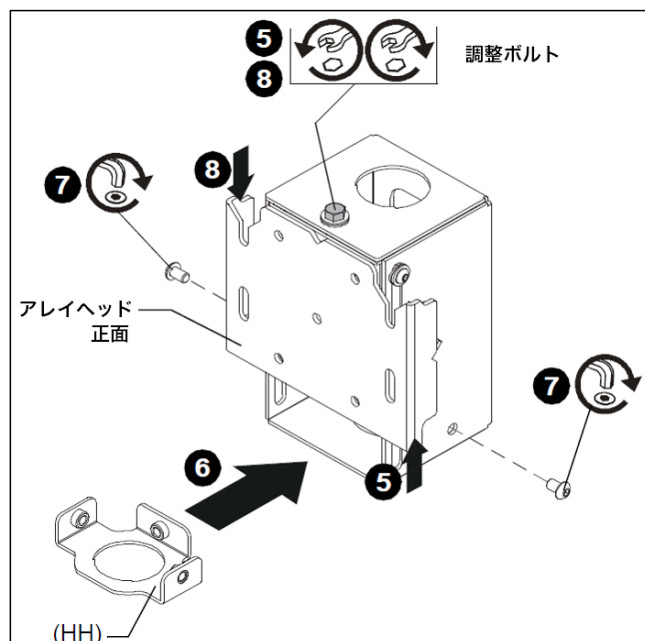
【図-1】

1. 【図-1】のように、アレイヘッド(FF)を上下逆さにします。
2. 【図-1】のように、ボタンネジを一度アレイヘッド(FF)から外して保管します。
3. インナーブラケット部を一度外します。

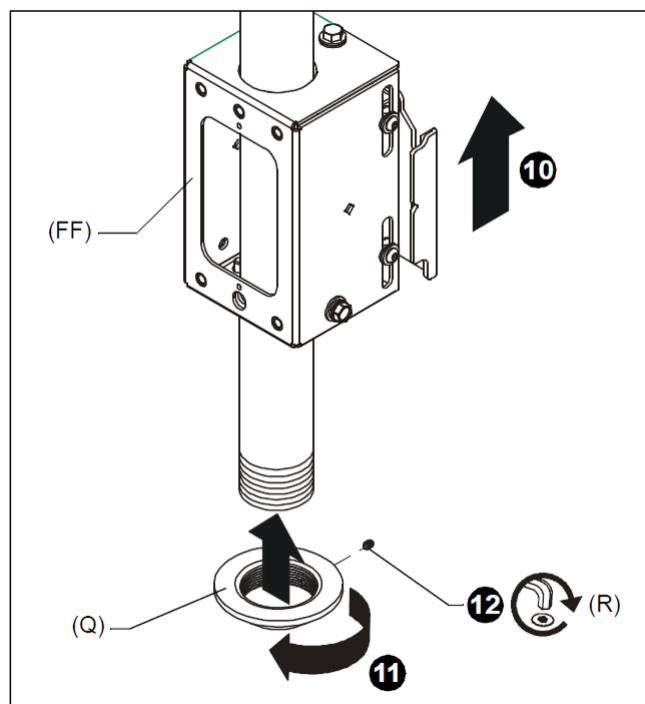
注意：ピンチポイントに注意！

⚠ 指を挟まないように注意してください。

4. 逆さにしていたアレイヘッド(FF)を戻し【図-2】。
5. 上部の調整ボルトを緩めて正面のプレートを上に移動します。
6. 【図-2】のように下部セットスクリューブラケット(HH)を正面下部から差込み、3面のタブ留め部が側面と背面に位置するように設置します。
7. 作業2.で外したボタンネジを下部セットスクリューブラケットの側面と合わせて留めます。
8. 5. で上に移動した正面プレートを元の位置に下げ、緩めた調整ボルトで再度留め直します。
9. もう一つのアレイヘッドも同様に1. から8. の作業を行います。

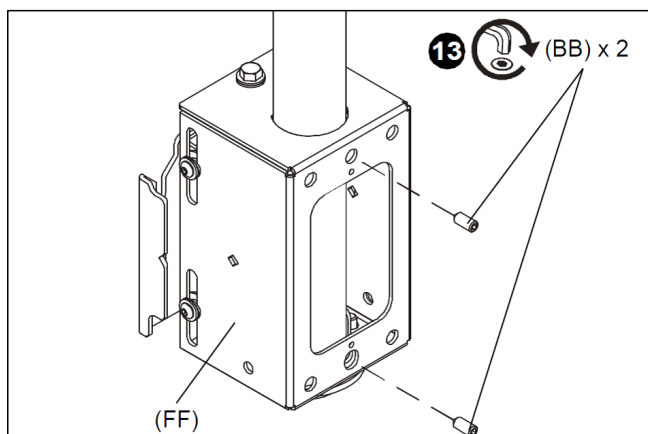


【図-2】



【図-3】

10. 【図-3】のように正しく天吊された別売CMSポールの下からアレイヘッド(FF)をスライドして取り付けます。
11. ボトムカップリング(Q)を【図-3】のようにきつくなるまで回し留めします。少なくとも4山以上は廻し留めて下さい。
12. ボトムカップリング(Q)を付属ネジ(R)で横から留めて更に固定します。



【図-4】

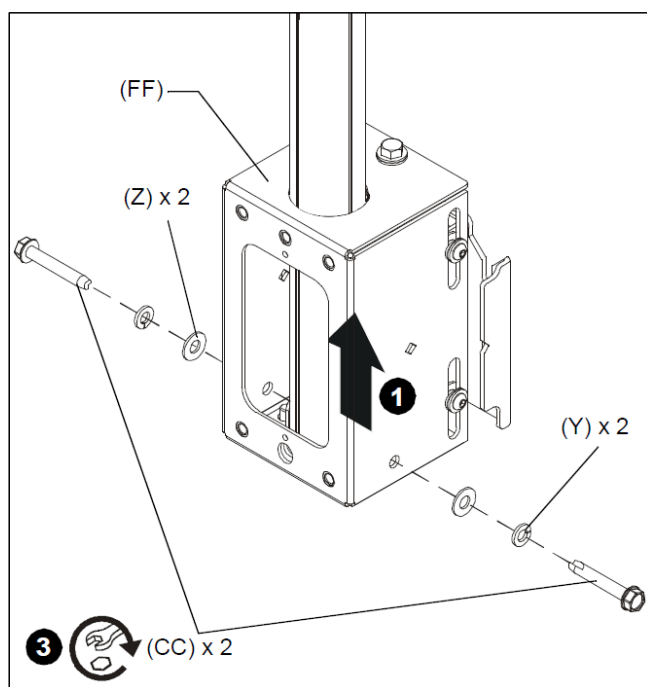
13. 【図-4】のように、（別売）ポールに対し付属セットネジ(BB)で背面から固定します。

14. 作業10.～13.をもう一方のアレイヘッド(FF)に対しても同様に行ないます。

■天井用延長ポールCPAシリーズ（別売）への取付け

注意：ピンチポイントに注意！

⚠ 指を挟まないように注意してください。

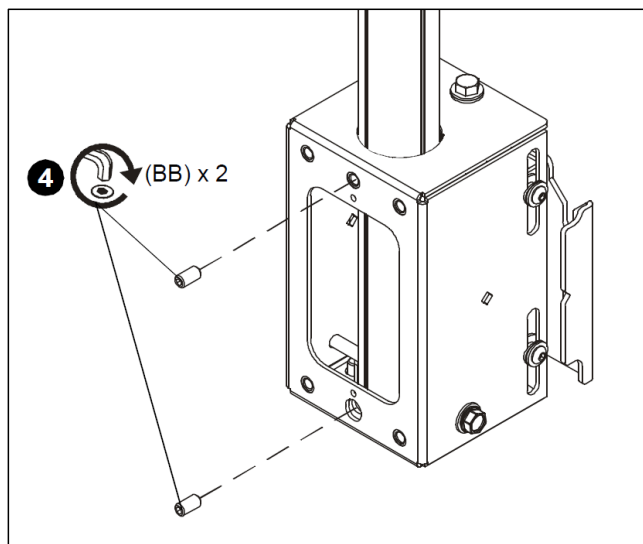


【図-5】

1. 【図-5】のように 正しく天吊された別売CPAポールの下からアレイヘッド(FF)をスライドして取り付けます。

2. 別売CPAポールの穴とアレイヘッド(FF)の穴の高さを合わせます。

3. 付属セルフタッピングネジ(CC)を付属スプリットワッシャー(Y)と付属フラットワッシャー(Z)も【図-5】のように合わせて取り付けます。

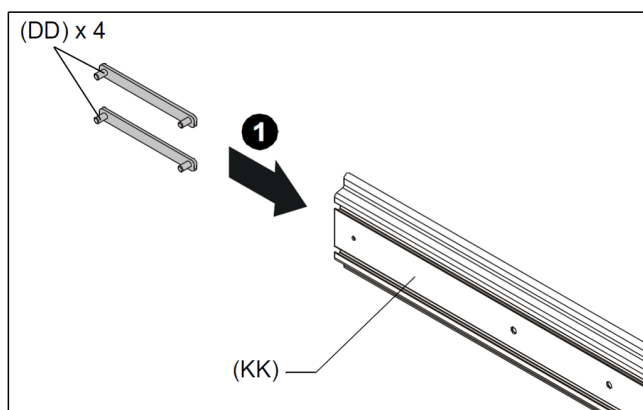


【図-6】

4. 【図-6】のように、（別売）ポールに対し付属セットネジ(BB)で背面から固定します。

5. 作業1.～4.をもう一方のアレイヘッド(FF)に対しても同様に行ないます。

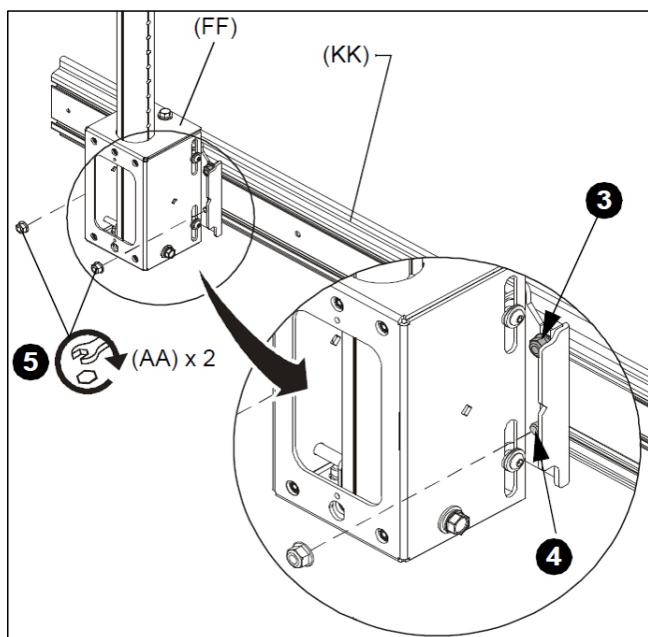
■マウントレールの取付け



【図-7】

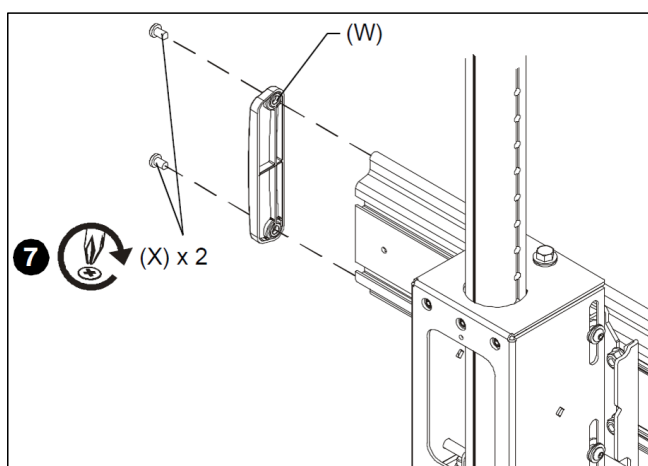
1. 【図-7】のように Tスロット留め具(DD) 4本をマウントレール(KK)の左右上下に差込みます。

2. レール上部のみTスロット 留め具(DD)の差込口に付属ロックナット(AA)を軽く留めておきます（仮留め）。



【図-8】

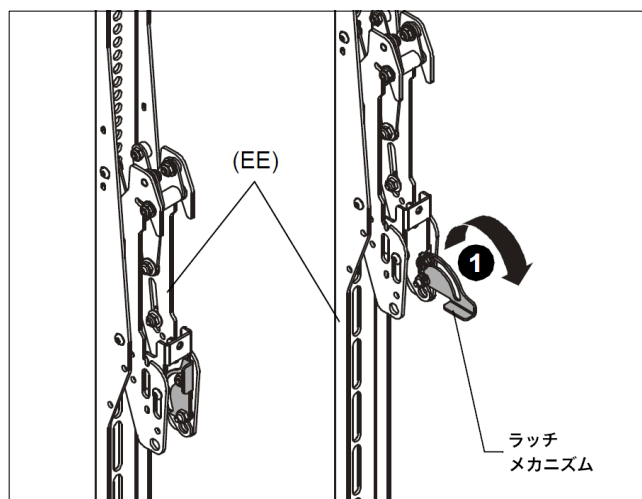
3. 【図-8】のように、レール上部のロックナット(AA)が付いたTスロット留め具(DD)をポール(別売)側に取り付けてあるアレイヘッド(FF)の上部にスライドさせます。
4. 3. の状態でレール下部のTスロット留め具(DD)もアレイヘッド(FF)下部にスライドして合わせます。
5. 仮留めしてあったアレイヘッド上部のロックナット(AA)をしっかり留め、下部のTスロット留め具(DD)も同様にロックナット(AA)でしっかりと留めます。
6. もう一方のアレイヘッド(FF)も同様に行ないます。



【図-9】

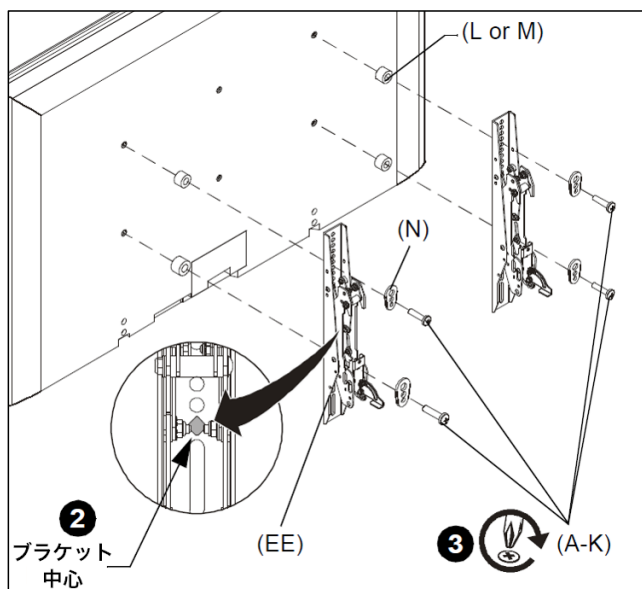
1. 【図-9】のように レールの両サイドにエンドキャップ(W)をはめ込み、付属ネジ(X)でそれぞれ留めます。

■インターフェースブラケットヘディスプレイを取付ける



【図-10】

1. 【図-10】のように、インターフェースブラケット(EE)のラッチメカニズムを下に倒します。



【図-11】

2. 【図-11】のようにインターフェースブラケット(EE)の中心とスクリーンの中心を合わせます

メモ：ブラケットのひし形の穴がマウントの中心です。

警告： 誤った方法で設置を行なうとディスプレイが落下するなど、重大な事故の原因となる可能性があります。

誤ったサイズのネジを使用するとディスプレイの破損の原因になります。適切なネジを使用するとディスプレイマウントにスムーズに差込む事ができます。スペーサーを使用した場合は同じ直径で長さがあるネジを使用してください。

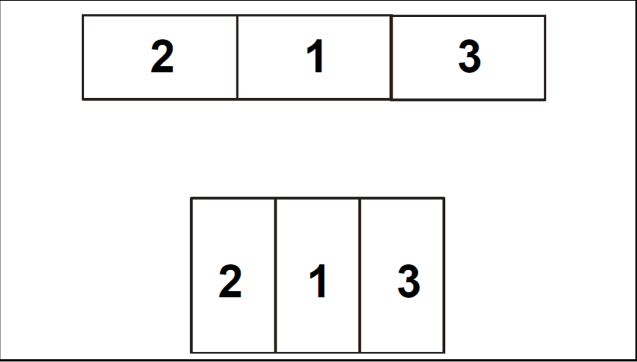
3. ディスプレイ側の取付穴の大きさに応じ正しいタイプのネジ(必要であればスペーサーも合わせて)を付属(A-N)から選び、【図-11】のようにディスプレイの背面にブラケット(EE)を取り付けます。

■ディスプレイをマウントレールに取付ける

警告： 耐荷重量を超える重量を取り付けると、重大な事故の原因となる可能性があります。
下記耐荷重量表に従ってディスプレイの重量を守ってご使用ください。

MODEL	ディスプレイ1台毎の 耐荷重量	マウントシステム 全体での ディスプレイ耐荷重量
LCM3X1U	125 lbs (56.7 kg)	375 lbs (170.1 kg)
LCM3X1UP	125 lbs (56.7 kg)	375 lbs (170.1 kg)

警告： ディスプレイの設置の順番は、下記【図-12】の設置例の数字順に行なってください。
必ず中央のディスプレイから設置し、左右端のディスプレイからは設置しないでください。

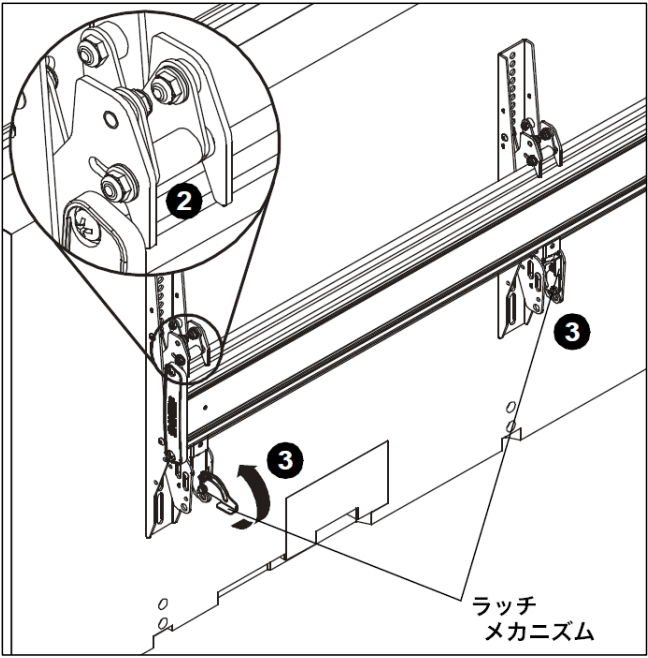


【図-12】

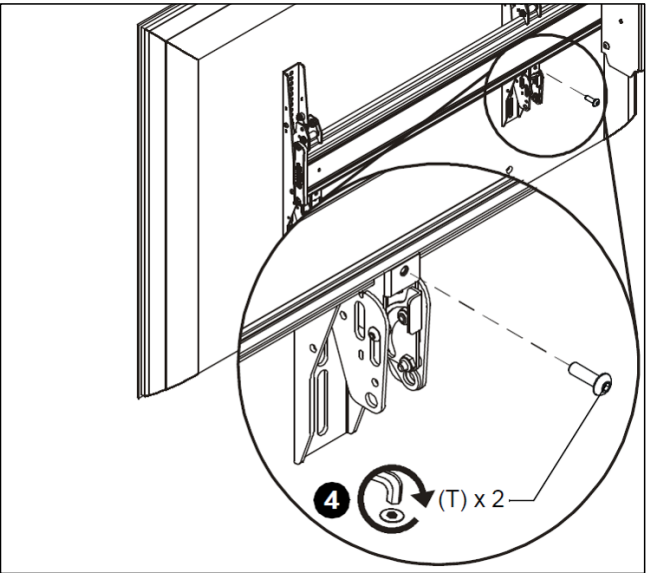
警告： ディスプレイをマウンティングレールに取り付ける前に必ずマウンティングレールにすべてエンドキャップを付けてください！

重要！： インターフェイスブラケット部はディスプレイをマウンティングレールに設置する前でも設置した後でも調整できます。
詳細は●●ページのディスプレイの調整をご確認下さい。

1. 【図-10】で、インターフェイスブラケット(EE)のラッチメカニズムが完全に下がっているか確認します。
2. ディスプレイの両端を支えながら、中心のディスプレイのインターフェイスブラケット部を【図-13】のようにマウンティングレールに引っ掛けます。
3. 2. で引っ掛けたインターフェイスブラケット左右両方のラッチメカニズムを【図-13】のように上げてロックします。



【図-13】



【図-14】

4. 【図-14】のように、付属ネジ(T)でさらに固定します。
5. もう一方のインターフェイスブラケットの固定も同様に行ないます。
6. 残りの左右のディスプレイの設置に関しても1. ～5.の作業を同様に行ないます。

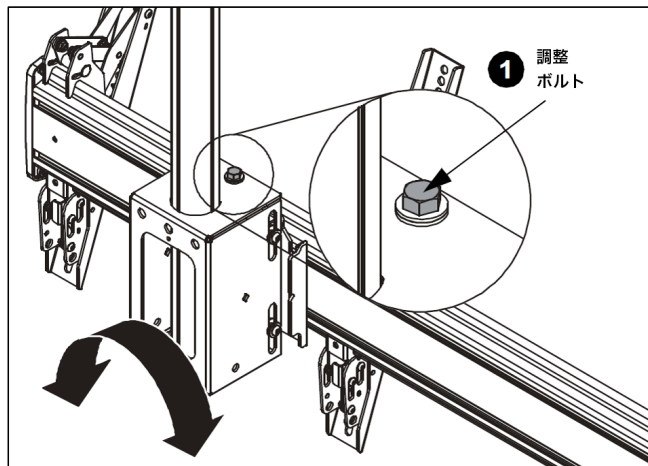
ディスプレイの調整

注意：ピンチポイントに注意！

⚠ 指を挟まないように注意してください。

■高さ・レール傾き調整

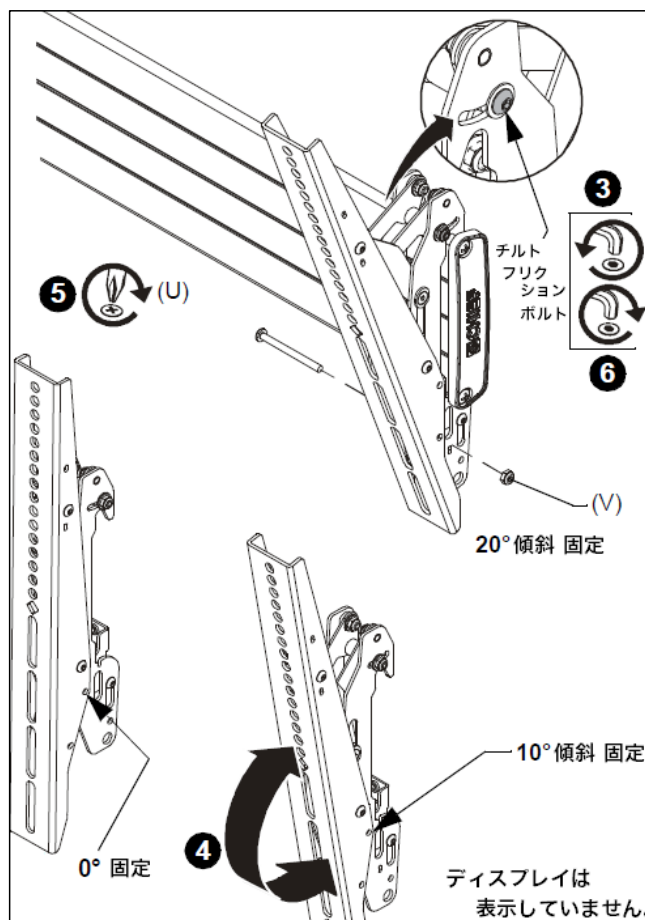
上下最大約5cmの高さ調整ができます。



【図-15】

1. 【図-15】のように、調整ボルトによって高さやレール傾きの調整をします。

■ディスプレイの傾斜調整

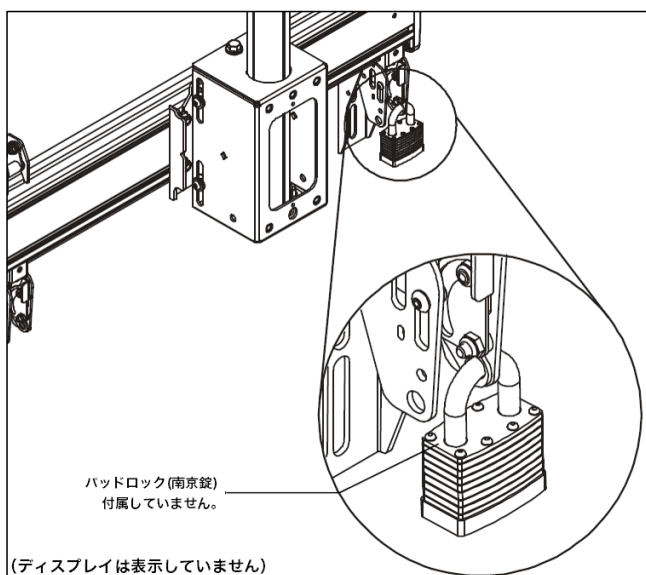


【図-16】

インターフェースブラケットは-5°～20°までの範囲でディスプレイの傾斜を調整できます。0°、10°、20°の角度で傾斜を固定することもできます。

3. 【図-16】のように、傾斜角度調整のためにインターフェースブラケットの側面にあるネジを緩めます。
4. 傾斜を調整します。
5. 0°、10°、20°で固定する場合は付属ネジ(V)、(U)を使用し角度を固定することもできます。
6. 緩めた3.のネジを留め直します。
0°、10°、20°で固定した場合は必要ありません。

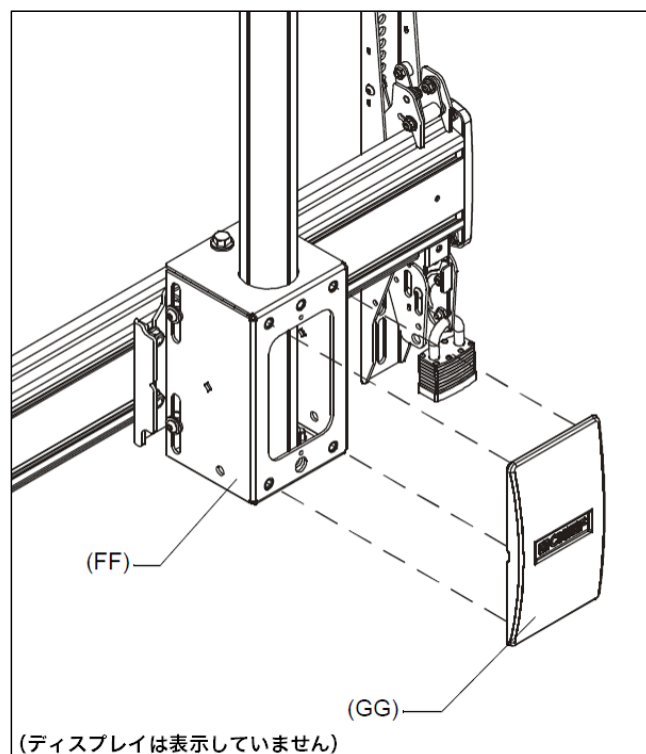
■（別売）南京錠取付け



【図-17】

1. 【図-17】のように必要に応じて市販の南京錠を取付けることも可能です。

■バックカバーの取付け



【図-18】

1. 【図-18】のようにアレイヘッド(FF)背面の4穴に合わせバックカバー(GG)をはめ込みます。

memo

<http://www.avc.co.jp/>



■ システム販売事業部

＜首都圏＞ 〒135-0063 東京都江東区有明 3-7-18 有明セントラルタワー 8階

<關 西> 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町 3-18-25

TEL. 03-3527-8660

FAX. 03-3527-8666

TEL. 06-6836-7827

FAX, 06-6310-6144